

米国主催多国間共同訓練ヴァリアントシールド2026への参加について

【訓練参加の目的】

自衛隊の戦術技量の向上を図るとともに、同盟国及び同志国との連携強化により、インド太平洋地域における抑止力・対処力を強化するもの。

【訓練の沿革】

「ヴァリアントシールド」は、2006年から隔年で米国が実施している統合訓練（実動訓練）です。米国からの招待を受け、前回2024年に続き自衛隊及び諸外国が本訓練に参加します。

【訓練の実施場所】

本訓練はグアム、ハワイを含むインド太平洋地域の広範なエリアで実施されます。

日本周辺においては、日本周辺海空域及び日本国内の自衛隊施設、在日米軍施設等において、各種の訓練を実施します。

米国以外の参加国の航空機・艦艇による日本への来訪は予定されていません。

【訓練の実施期間】

令和8年6月22日（月）～7月1日（水）の間（前後1週間程度の準備及び撤収期間）で予定しています。夜間及び土日を含む計画も一部ございますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

主な訓練実施場所（日本国内）

※写真はイメージです

⑤ 共同衛生訓練 （松島、横田、入間、横須賀、岩国等）



③ 共同空挺降下訓練 （北海道大演習場）



※その他、千歳、入間、南恵庭、習志野を後方支援施設として使用

① 共同対航空戦闘訓練 （千歳、奥尻島、車力）

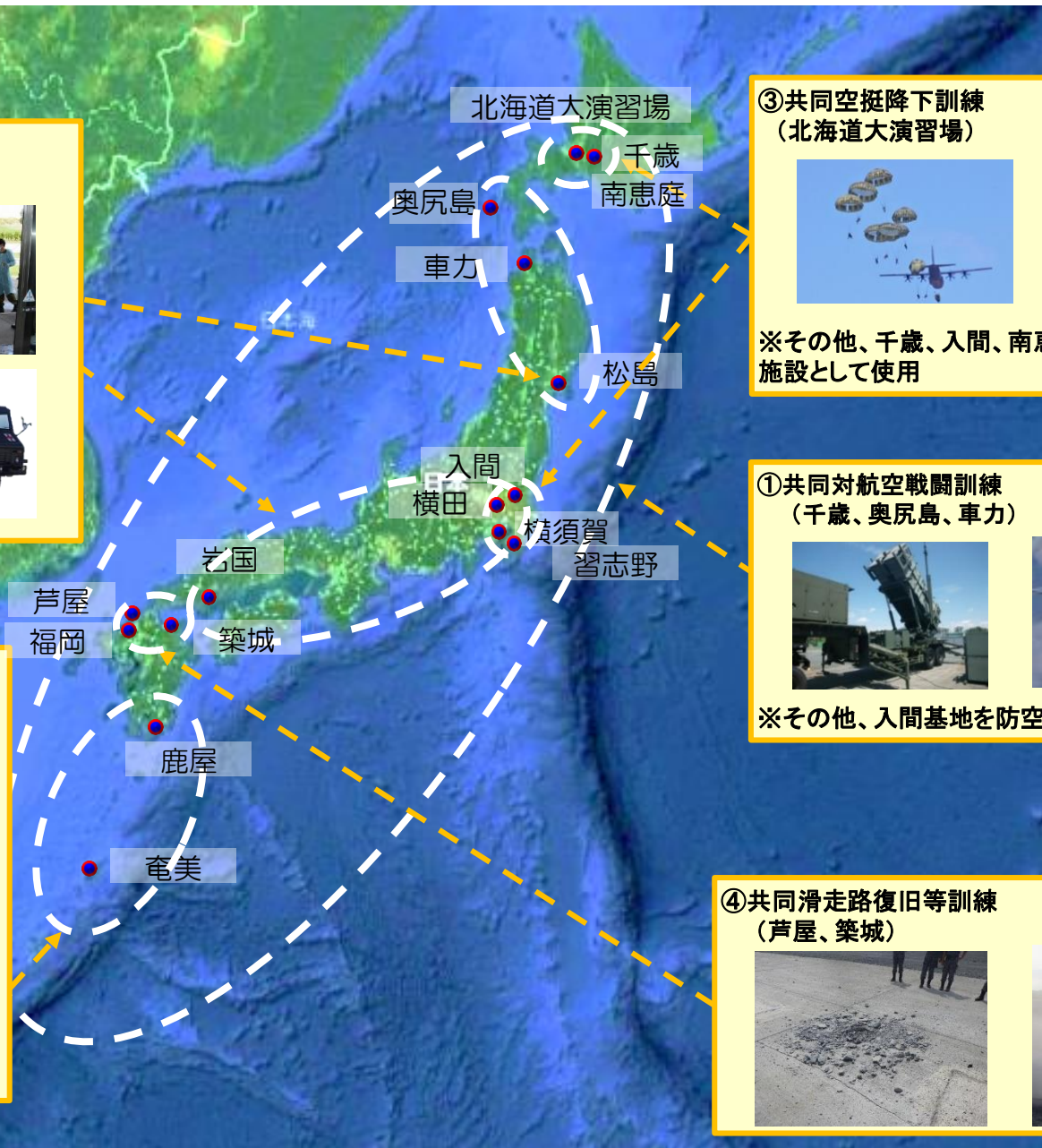


※その他、入間基地を防空指令所として使用

② 共同統合対艦戦闘訓練 （奄美駐屯地、奄美大島分屯基地、 奄美大島（生地）、鹿屋）



④ 共同滑走路復旧等訓練 （芦屋、築城）



※本訓練は、日本国内の他、グアム、ハワイを含むインド太平洋地域の広範なエリアで実施されます。

米国主催多国間共同訓練ヴァリアントシールド2026における 訓練実施場所について

本訓練においては、主に以下の施設等において訓練を行う予定です。

① 共同対航空戦闘訓練

千歳基地、奥尻島分屯基地、車力通信所、入間基地(防空指令所)、
春日基地飛行場地区及び米軍板付飛行場(日米空中給油機展開)

※後方支援施設:車力分屯基地(宿泊等)

② 共同統合対艦戦闘訓練(一部の地域においてレゾリュート・ドラゴン26の訓練項目を含む)

奄美駐屯地、奄美大島分屯基地、奄美大島(奄美市及び龍郷町)の生地、鹿屋航空基地

③ 共同空挺降下訓練

北海道大演習場

※後方支援施設:千歳基地(着陸予備・帰投時)、入間基地(搭乗)、南恵庭・習志野駐屯地(宿泊等)

④ 共同滑走路復旧等訓練

芦屋基地、築城基地

⑤ 共同衛生訓練

岩国沖(洋上) ～ 岩国航空基地 ～ 自衛隊入間病院 ～ 横須賀米海軍病院

松島基地 ～ 横田米空軍病院、自衛隊中央病院、自衛隊仙台病院、石巻赤十字病院

① 共同対航空戦闘訓練

- 航空自衛隊及び米軍が日米の戦闘機、地上防空アセット等を連携させた対航空戦闘訓練を実施します。訓練は、日本海沖及び沖縄南方の訓練空域で実施し、実弾は使用しません。
- また、上記訓練に参加するため、米軍のレーダーが車力通信所に展開します。また、航空自衛隊のPAC-3が奥尻分屯基地に展開するほか、航空自衛隊及び米軍の空中給油機が春日基地（飛行場地区）、米軍板付飛行場にそれぞれ展開します。
- 併せて、空自千歳基地に展開する米軍C-17を活用した搭載検証を実施します。

【期 間】

- （日本海訓練空域） 令和8年6月22日（月）～30日（火）※27日、28日は除く
- （沖縄南方訓練空域） 令和8年6月22日（月）～30日（火）※23日、28日は除く。
- （空自千歳基地） 令和8年6月22日（月）～25日（木）

【参加部隊】

（日本海訓練空域）

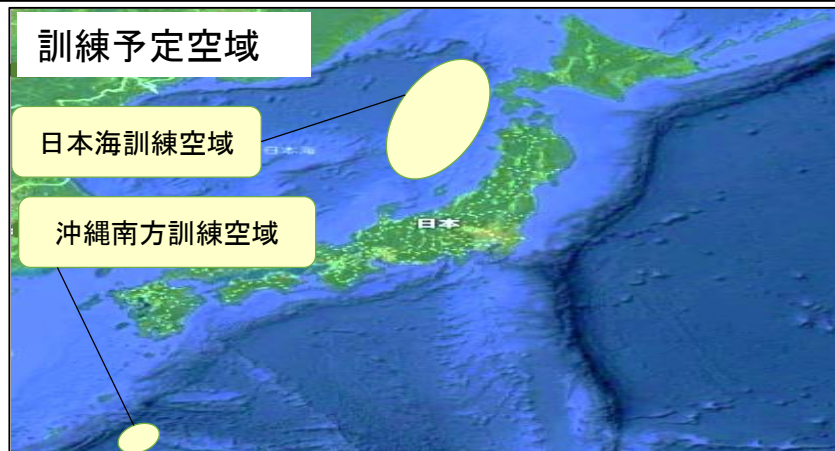
航空自衛隊 戦闘機×30機、早期警戒管制機×1機、空中給油機×2機、輸送機×4機、高射隊×1 等
米 軍 戦闘機×4機、空中給油機×3機、高射隊×1 等

（沖縄南方訓練空域）

航空自衛隊 戦闘機×8機 等
米 軍 戦闘機×30機、空中給油機×3機 等

（空自千歳基地）

陸上自衛隊 地対艦ミサイル×1式（車両6両） 等
航空自衛隊 高射隊×1 等
米 軍 輸送機×1機



訓練イメージ



対航空戦闘訓練



搭載検証

② 共同統合対艦戦闘訓練

(一部の地域においてレゾリュート・ドラゴン26の訓練項目を含む)

- 奄美大島では、笠利崎灯台においては、日米共同でのマリンレーダによる沿岸監視訓練及び陸上自衛隊の電磁波訓練を、あやまる岬観光公園においては、陸上自衛隊の無人偵察機(スキャンイーグル)及び米軍の無人偵察機(ストーカー)の飛行による情報収集訓練を実施する計画です。
- また、各生地においては、陸上自衛隊による対艦戦闘訓練(非実射)、NEWS(ネットワーク電子戦システム)による情報収集訓練・電磁波訓練及びSSM統制装置を使用した指揮所訓練等を実施する計画です。
- 沿岸監視訓練及び電磁波訓練においては、実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】

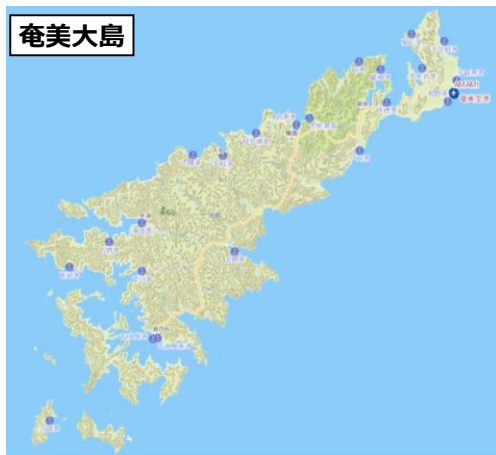
令和8年6月22日(月)～6月30日(火)

【参加部隊】

陸上自衛隊: 約300名(西部方面情報隊、第2地対艦ミサイル連隊、第5地対艦ミサイル連隊、第7地対艦ミサイル連隊、マリンレーダ、無人偵察機(スキャンイーグル)、12式地対艦誘導弾、88式地対艦誘導弾、SRU(レーダー装置)、RRU(中継装置)、NEWS(ネットワーク電子戦システム)、SSM統制装置等)

米 軍: 米海兵隊・米空軍 約20名(第12海兵沿岸連隊、第1航空支援作戦群、マリンレーダ、無人偵察機(ストーカー)等)

訓練予定場所



訓練イメージ



無人偵察機(スキャンイーグル)



無人偵察機(ストーカー)



マリンレーダによる沿岸監視訓練

※海上の船舶の探知を実施



NEWSによる電磁波訓練

③ 共同空挺降下訓練

- 陸上自衛隊及び米海兵隊の空挺部隊が、空自入間基地から空自の航空機及び米空軍の航空機によって北上し、北海道大演習場上空から自由降下訓練を実施します。
- 降着後、陸上自衛隊特科連隊を対抗部隊として、日米共同による地上戦闘訓練を実施します。
- なお、天候等の理由により降下が困難な場合は、空自千歳基地に着陸し、人員を演習場まで輸送予定です。
- また、6月29日(月)には空自輸送機による物料投下訓練を行う予定です。

【期 間】

令和8年6月25日(木) ～ 6月29日(月)(予備日:30日(火))

【参加部隊】

陸上自衛隊 空挺団 約170名(空挺降下 約30名、地上要員 約140名)、特科連隊 約30名

航空自衛隊 輸送機(C-2×2機、C-130H×1機)

米 軍 米海兵隊空挺部隊 約30名、空軍輸送機(C-130×1機)

訓練予定場所



訓練イメージ



輸送機からの跳び出し



自由降下傘の操縦



物料投下

④ 共同滑走路復旧等訓練

○ 滑走路等の損傷を想定し、芦屋基地及び築城基地において、陸海空自衛隊が米空軍、米海軍とともに滑走路の応急復旧等を演練します。

【期 間】

令和8年6月22日(月)～25日(木)(予備日:26日(金))

【参加部隊】

陸上自衛隊 中方及び西方の施設部隊 約100名

海上自衛隊 航空集団の施設部隊 約30名

航空自衛隊 航空総隊の施設部隊 約100名

米 軍 空軍及び海軍の施設部隊 約100名、空軍輸送機(C-17)×1機※

※人員及び機材の輸送のため、自衛隊基地に米軍の輸送機が飛来します

訓練予定場所

芦屋基地

築城基地

訓練イメージ



⑤ 共同衛生訓練

○ 松島基地及び岩国沖の洋上の米艦艇内において、それぞれ傷病者が発生したという想定のもと、各自衛隊及び米空軍のアセットを活用し、治療・後送を実施します。

【後送ルート】

- ・松島基地から横田基地米空軍病院、自衛隊中央病院、自衛隊仙台病院、石巻赤十字病院へ
- ・岩国沖から岩国航空基地、自衛隊入間病院を経て横須賀米海軍病院へ

【期 間】

令和8年6月22日(月)～24日(水)(予備日:25日(木))

【参加部隊等】

陸上自衛隊 陸上総隊 約60名、自衛隊仙台病院 約10名、自衛隊中央病院 約10名、
CH-47×1機、救急車×1台

海上自衛隊 自衛艦隊 約10名、US-2×1機

航空自衛隊 航空総隊 約20名、航空教育集団 約20名 自衛隊入間病院 約10名、
C-2×1機、救急車×1台

米 軍 米海兵隊、第7艦隊、第5空軍 約50名、空軍輸送機(C-130J)×1機

訓練予定場所



訓練イメージ

